

あらかわ産業ナビ

「あらかわ産業ナビ」は荒川区産業経済部が年間6回(5月・7月・9月・11月・1月・3月)発行する産業情報紙です。区内事業者や団体等を対象に7,000部を配布しています。



【LANP分科会 家族団らんプロジェクト】

未来を担う子ども達のために 家族団らんを笑顔でサポート

イライラを笑顔に変える"魔法"のフォトコンテスト

子どもに関わる人なら誰もが目にすることがある、子どもの成長過程で見られる"あるある"な光景。その瞬間をパチリと撮った写真を募集する「第1回 あらかわ区 子育てあるあるフォトコンテスト」が6月～8月にかけて開催されました。主催はLANPの「家族団らんプロジェクト」。家族は子ども達を育む大切な基盤と考えて発足した分科会で、メンバーは写真館スタジオ・アンバー、ミラクル亭、ティールームフェルメールの3店舗。店舗同士が連携して家族をサポートする「サポテン(店)」活動も行っています。

松田さんは「子育てはイライラすることも多いけれど、そんな時こそシャッターチャンスと思えば、「しかめっ面」も「笑顔」に変わります」と言います。今回の応募総数は440作品(137人)。入賞作品50点を選定し、飲食店や美容室など9店舗で巡回展示。展示店舗は子どもや孫、知り合いの写真を見に来る人で賑わいました。家族の笑顔をサポートするこのプロジェクトの今後の展開が楽しみです。



LANP分科会 家族団らんプロジェクト
代表 松田幸久さん(左)、松田直見さん(右)

「あらかわ区 子育てあるあるフォトコンテスト」をご紹介

6月の1か月間で集まった440作品の中から審査員が入賞50作品を選定。入賞作品は、7月下旬から3週間複数の店舗で巡回展示を実施。写真の内容が伝わるように作品には「解説パネル」を一緒に展示して、お店を訪れたお客さんに投票してもらいました。8月下旬には、サンパル荒川で入賞全50作品をあらためて展示。一般投票と審査員票を集計して各賞を決定し、最終日には各受賞者に展示パネルを含めた副賞を贈呈しました。

1

no.39 | オヤコポートレート
そんなに嫌がらなくても
七五三の晴れの日。
最後の仕上げを断固拒否する娘です。

作品と一緒に展示した「解説パネル」

2

1 一眼カメラ部門・大賞:オヤコポートレート
2 スマートフォン部門・大賞:naomi
3 一般投票賞:ゆめちゃん

◎一眼カメラ部門・優秀賞:NAOTTOAN
◎スマートフォン部門・優秀賞:さや (敬称略)

3

飲食店での展示の様子

大賞受賞者へ贈られた副賞

大切な瞬間を笑顔の写真で残す二人三脚の写真館

幸久さんは、写真店を営む叔父の影響を受け、幼少期から写真やカメラに触れてきました。写真の専門学校を卒業後、資生堂の宣伝部などで実績を積み独立。会社員時代に知り合ったグラフィックデザイナーの直見さんと結婚して「写真館スタジオ・アンバー」を14年前に開業しました。子どもの記念日撮影を軸に、マタニティ撮影や生前遺影など幅広く対応。素敵なスタジオセットも自分たちの手作りです。2人で連携して被写体の笑顔を上手に引き出すので、リピート客も多いとのこと。楽しく、ゆったりとした雰囲気を作るため、1日2組限定で集中して撮影に取り組んでいます。地域の人との交流を増やせるよう、カフェの併設も考えたいとのことでした。



撮影は幸久さん、メイクや着付けは直見さんの担当



1歳の記念撮影 七五三の撮影

【Profile】松田幸久(まつだ・たかひさ) 和歌山県出身で、長年広告業界で活躍した実績のあるプロのカメラマン。静岡県出身の直見さんと住み心地の良い荒川区で開業。

【問合せ】写真館スタジオ・アンバー [住所] 荒川区東日暮里2-16-2-101

【Tel】03-5615-2217 【公式サイト】<https://www.studio-amber.com/index.html>



◎家族の会話が弾む「**こたね**種シート」

家族団らんのきっかけとなる情報や雑学、会話の種が書かれたA5判の「こたね種シート」の配布は、家族をサポートするお店「サポテン(店)」活動の一環。参加店が各自で工夫して製作し、来店客に提供しています。

こたね種シート

らんぽ LANP分科会のご紹介

(Local Akindo Network Project)

LANPは区内の個人商店(個店)を会員とし、商店街や個店の活性化に向け活動する会員組織です。専門の中小企業診断士がコーディネートし、意欲の高い個店の経営力向上と、個店間のネットワークづくりを推進しています。定期的にセミナーや交流会なども開催。また、有志が分科会を立ち上げてさまざまな活動を行っています。

LANP会員募集中! 詳細は下記まで

【問合せ】産業振興課 商業振興係
【Tel】03-3802-3376 (岡まで)
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a020/jigyousha/jigyounuei/lanpbosyu.html>

食品ロスの課題をチャンスに 捨てられる「おから」をおいしく活用

食品ロス研究会は、楽しみながら食品ロス削減の意識向上を進め、店舗と来店客の絆を深めることを目指しています。区内3店舗の豆腐店から、毎日500kg以上排出される「おから」の活用を考えて、「おから活用グランプリ」を実施。10月に開催した第3回には、22店舗が参加して、さまざまな料理やお菓子などが発表されました。

【Profile】石橋忠(いしばし・ただし) 食品ロス研究会代表。おからグランプリ主催者。大正3年創業の老舗豆腐店 大倉屋 工場長。荒川区南千住5-36-11。

下町の小店を巡るスタンプラリー 笑顔が花咲く交流で地域活性化

花フェス分科会では、飲食店や物販商店などの小店を巡るスタンプラリーを毎年開催。気になっていた地域のお店に入る「きっかけ」や「交流の場作り」に活かしています。「第10回下町花・フェス!」は、166店舗・観光スポット4か所が参加して10月10日(火)～令和6年4月21日(日)の期間で開催中です。ぜひご参加ください。

【Profile】大竹ミキ(おおたけ・みき) 花フェス分科会代表兼、下町花フェス実行委員会代表。花やMOMOは金・土・日のみの営業。荒川区町屋8-6-6。

11月は事業承継支援強化月間です〔訪問相談/セミナー配信/フォーラム開催〕参加者募集

会社の未来、荒川区の未来を拓く!

区では、中小企業経営者の高齢化や廃業の動向を踏まえ、専門家による訪問相談やセミナーによる意識啓発など、中小企業経営者の皆さんが次世代へ円滑に事業承継できるように『事業承継の早期準備』を多面的にサポートしています。



1. 訪問相談事業のご紹介

訪問相談は事業承継支援が専門の事業承継士(中小企業診断士)が、ご都合のよい日時に訪問してご相談を承ります。事業承継に関することであれば、どんな内容でも構いません。



利用可能回数 1社3回まで(原則、1回2時間程度)

対象者 区内中小企業の経営者、後継者など

相談例 ◎事業承継って聞くけど何をして良いかわからない
◎後継者へ譲る時期や方法を相談したい など

【申込み】 下記の事業承継センター株式会社に直接お申し込みください

訪問相談・事業承継フォーラムへの申込み/セミナー内容に関する問合せ

事業承継センター株式会社

[Tel] 03-5408-5506 (平日9:00~18:00)

[e-mail] info@jigyousyoukei.co.jp

内容や申し込みについてはこちらへご連絡ください

※詳細は下記の荒川区ホームページからご確認ください
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a021/jigyousha/jigyounet/jigyosyokei.html>

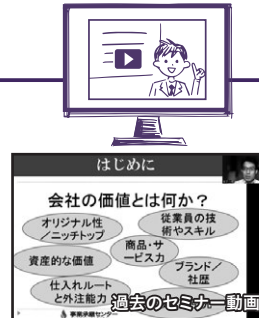


2. 事業承継セミナー配信

円滑な事業承継を進めるための手法や後継者問題の解決方法など、事業承継に必要な不可欠な情報をお届けします。現在、荒川区ホームページにて過去に実施したセミナー動画を配信しています。ぜひご覧ください。

対象者 経営者、後継者、その家族など

【動画配信】 詳細は左下の荒川区ホームページからご確認ください



3. 事業承継フォーラム 12月5日(火)14:00~16:00

会場 ゆいの森あらかわ〔ゆいの森ホール〕

対象者 経営者、後継者、その家族など

前半 14:00 ~

日本の弦楽器、三味線で考える事業承継



エレキ三味線を考案した荒川区内の企業が登壇! 三味線の音色に耳を傾けながら事業承継を考えましょう。

ゲスト 加藤金治氏
有限会社三味線かとう 取締役

後半 15:10 ~

東大阪の工場を継いだ元跡取り娘が実体験を語る!



中小企業特有の経営課題、経営者の孤独、経営の難しさはどう向き合ったのか!?

ゲスト 中本美智子氏
中小企業診断士

【申込み】 左記の事業承継センター株式会社に直接お申し込みください

問合せ 経営支援課 経営支援係 [Tel] 03-3802-4808

【荒川区商店街連合会発行】お知らせ

総額1億4,400万円分

第21弾「プレミアム付き区内共通お買い物券」を販売します

荒川区商店街連合会は、物価高騰などの影響を受ける区民や区内商店街の支援のため、1万円が1万2,000円分の買い物ができるプレミアム付き荒川区区内共通お買い物券を販売します。商店街での販売に加え、Web・ハガキでの抽選販売も実施します。

有効期限	令和6年5月31日(金)まで	購入対象者	小学生以上
商店街でのご購入 (総額1億2,000万円分)	▶12月2日(土)午前10時から区内商店街で販売します(販売所一覧は下記の詳細・問合せからご確認ください)。 ※各販売所で売切れ次第、販売終了となります		
抽選申込でのご購入 (総額2,400万円分)	▶事前に申込サイトやチラシ付属の申込ハガキにてお申し込みください。 《事前申込み受付期間》ハガキ:12月3日(日)~12月8日(金)まで【必着】 Web:12月3日(日)0時~12月8日(金)23時59分まで ▶当選者は、12月23日(土)~12月25日(月)の13時~19時に引換販売所(サンポップマチャ正面入口) (荒川区荒川7-50-9)にてご購入いただけます。※重複申込(Web・ハガキの重複を含む)はすべて無効となります。※当選者には12月15日(金)ごろから「引換券」を順次発送いたします。		
詳細・問合せ	【購入方法・販売所等の詳細】 荒川区商店街連合会ホームページ https://www.j-passage.com/arakawa/okaimonoken.html → プレミアム付き区内共通お買い物券事務局コールセンター [Tel] 03-6634-1393 (11:00~16:30) 【開設期間】 11月21日(火)~12月26日(火)※土・日・祝を除く		

一人あたり
3万円(3冊)まで
3万6,000円相当額
購入限度額



ご利用はこのステッカーのお店!

荒川区観光アプリ 参加者募集

あらかわさんぽ「太田道灌めぐり」デジタルスタンプラリー



毎回好評の「荒川区観光アプリ」あらかわさんぽ「デジタルスタンプラリー」。今年は「太田道灌フェス」のイベント開催と合わせて、太田道灌にちなんでスポットをまわります。「あらかわさんぽ」をインストールすればすぐに参加できます。スタンプスポット付近でチェックインするとスタンプがもらえ、一定数以上たまると賞品に応募できます。お気軽にご参加ください。

日時: 12月10日(日)まで開催中(期間中いつでも参加可能)

場所: 区内12か所(詳細はアプリ・右下のURLからご確認ください)

対象: どなたでも / **持ち物:** スマートフォン

参加費用: 無料(通信料は自己負担)

【賞品】

A賞 荒川区区内共通お買い物券(3万円分)

B賞 スマホスピーカー「OTO CHOCHIN」→

C賞 図書カードNEXTネットギフト(千円分)



アプリダウンロード用二次元コード



←iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら

※二次元コードを読み取る際は使用しないほうを指で隠してください

【問合せ】 観光振興課
[Tel] 03-3802-4689
[e-mail] kankou@city.arakawa.lg.jp

詳しい操作方法などはこちらからご確認ください

https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a022/kankoleisure/kankou/r5_digitalstampラリー.html



お知らせ

障がい者雇用をサポートします！ お気軽にご相談ください！



荒川区社会福祉協議会「じょぶ・あらかわ」では、障がいのある方の雇用の準備や採用までの流れ、国や自治体の助成制度の利用などについてサポートしています。まずは実習や職場体験から始めたいという企業のご相談にも応じています。また、障害者雇用率制度や新たな短時間勤務のルールなど、ご不明な点は、下記までお気軽にご相談ください。

◎ 障がい者雇用によって、区内で訓練や作業を行い活躍している人がいます

区内には、「障がい者雇用」を活用して一般企業で仕事をしている人や、仕事に就くために「就労移行支援事業所」や「就労継続支援B型雇用」を利用して、日ごろから各所で訓練や作業を行っている人がいます。



問合せ	荒川区社会福祉協議会「じょぶ・あらかわ」 [Tel] 03-3803-4510 ※詳細は下記のホームページからご確認ください https://www.arakawa-shakyo.or.jp/job_arakawa/	
-----	---	--

参加者募集

ITトレンド活用セミナー

～効果的なWebサイトとトレンドのChatGPTの活用方法～



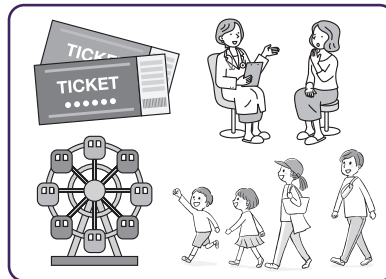
「自社ホームページはあるけれど受注につながらない」「そもそもどのくらい見られているかわからない」などの悩みを抱えている中小企業や事業を始めたばかりの方に向け、IT活用方法を2日間であらりと学べるオンラインセミナーを開催します。

日時	1回目:12月11日(月) / 2回目:12月18日(月) 14:00~16:00
会場	オンライン(Zoom)
講師	村上知也氏 (中小企業診断士、ネットワークスペシャリスト、中小機構アドバイザー)
内容	《1回目》「一人でできる!ネット集客の基本」 ●魅力的なホームページとは ●自社のホームページを発見してもらうためには (SEO対策) ●問合せを増やすための動画活用 など 《2回目》「AIを活用しよう!」 ~中小企業のChatGPTの使いどころ~ ●ChatGPTはすごいのか? / ●事例紹介 ●ChatGPTの効果的な活用方法、気を付けたいポイント など
問合せ	経営支援課 産業活性化係 [Tel] 03-3802-4807 [e-mail] sogyoitshien@city.arakawa.lg.jp ※詳細は下記の荒川区ホームページからご確認ください https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a021/jigyousha/sougyoshien/adobansu.html

会員募集

中小企業・商店・フリーランスの皆さんにお得なお知らせ 月会費500円で福利厚生をサポートします

(一財)東京広域勤労者サービスセンターが運営する「フレンドリーげんき」では、催事など各種チケットの割引あっせんや各種給付金、インフルエンザの予防接種、人間ドック費用の補助など、中小企業や商店、フリーランスの皆さんの福利厚生をサポートしています。ぜひご活用ください。



フレンドリーげんき	🔍
入会資格	区内中小企業の事業所や商店などで働く従業員と事業主、及び自営業者(長期継続雇用のパートも可)
会費	入会金:1人200円 会費:1人500円(月額)
主なサービス	①給付金の支給(お祝金・見舞金・弔慰金) ②宿泊補助・レジャー施設などの利用補助券配布 ③映画鑑賞券・スポーツ観戦券・コンサートなどのチケット割引あっせん ④人間ドック・インフルエンザ予防接種費用補助 ⑤区内共通お買物券・都内共通入浴券の特別料金販売
申込み・問合せ	一般財団法人東京広域勤労者サービスセンター 荒川区営業所 〒116-8501 荒川2-2-3 荒川区役所6階 [Tel] 03-3806-7581 [Fax] 03-3806-7588

開催報告

「シロウト洋裁で毎日を愉しむ」 トークショー&ワークショップ開催



10月7日(土)、イラストレーターの津田蘭子氏をふらっとにっぼりに招き、株式会社ベビーロックの協力のもと、トークショーとモノづくりワークショップを開催しました。津田さんはイラストレーターとして活躍する一方、年間100着以上の服を手作りし、洋服や小物作りの楽しさを各種メディアで発信しています。



トークショーでは、津田さんご自身の作品やモノづくりに対する熱い思い、日暮里織維街の楽しみ方などについて語っていただきました。ワークショップでは、オリジナルイラストによる「にっぼり織維街ネコチャーム」や、日暮里織維街で選んだ材料を使った「リストレットポーチ」を制作。大好評の充実したイベントとなりました。



【講師】イラストレーター
津田蘭子氏
 武蔵野美術大学短期大学部卒
 フリーのイラストレーターとして雑誌、書籍、広告、Webなど幅広い分野で活躍



問合せ	経営支援課 産業活性化係 [Tel] 03-3802-4807
-----	---------------------------------

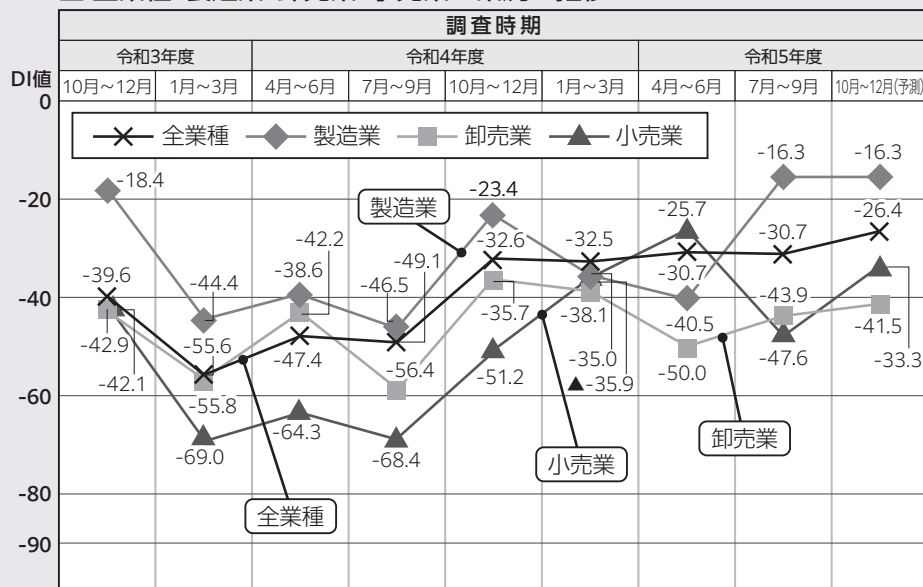
荒川区中小企業景況調査 令和5年度第2四半期(令和5年7~9月)

*区が区内中小企業200事業所を対象に実施した調査結果です。景況調査と併せて新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の経営状況についても調査しました。調査時点は令和5年9月中旬。回収数は163事業所、回収率は81.5%でした。

- 【業況判断DI】▲30.7(前回調査▲30.7)と前期並み。次期は▲26.4とやや改善の予想です。
- 【売上状況】前期に比べ「あまり変わらない」が46.3%、「減少した」が38.9%、「増加した」が14.8%となりました。
- 【5類感染症移行後の経営状況について】「変わらない」が63.8%、「プラスの影響があった」が17.2%、「マイナスの影響があった」が11.7%、「大いにマイナスの影響があった」が4.9%、「大いにプラスの影響があった」が2.5%となりました。
- 【5類感染症移行によりプラスの影響を受けている内容について】「行動制限解除により人出が回復したため」が36.7%、「対面営業を再開できたため」が26.7%、「消費動向の回復による影響が増えたため」が20.0%、「その他」が8.3%、「新規顧客、受注先が増加したため」が6.7%、「インターネット等によるオンライン販売の利用が拡大したため」が1.7%となりました。
- 【5類感染症移行によりマイナスの影響を受けている内容について】「原油・原材料価格高騰」が26.9%、「取引先・受注が減少したまま」が25.6%、「客足が戻らない」が23.1%、「人件費高騰・人手不足」が10.3%、「その他」が9.0%、「取引先等が倒産したため」が5.1%となりました。

荒川区ホームページから景況報告の詳細・バックナンバーをご覧ください
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a020/sangyou/sangyoushinkou/20200120.html>

■ 全業種・製造業・卸売業・小売業の業況の推移



あらかわ産業ナビ
モノづくり
見学・体験スポット

職人探訪!

今回の「職人探訪」は、区の「モノづくり見学・体験スポット」に、今年新しく加わった「株式会社加藤製作所」と「ほしみさき工房」を訪ねました。区では、「モノづくりの街、あらかわ」を多くの方に知っていただくために、事業主の皆さんにご協力いただき、製造工程の見学やモノづくりの体験ができる「モノづくり見学・体験スポット」というプロジェクトを行っています。また、区内で製造・販売されている優れた製品を「荒川ブランド」として積極的に紹介しています。



代表取締役社長 加藤俊司さん

取締役副社長 加藤里絵さん

株式会社加藤製作所「明治28年創業の老舗茶筒メーカー」 時代を超えて愛される手づくり缶

加藤製作所は明治28年から手づくり缶の製造・卸売・販売に携わる、創業120年を超える老舗企業です。ブリキや銅を使用した手づくりの缶は、ライン工場での大量生産品とは異なる味わい深い一品もの。茶筒や七味唐辛子入れのほか、雑貨店で販売するかわいい特注缶や企業のノベルティグッズなども手掛けています。令和5年に浅草橋から荒川区内の作業場に本社機能を移転。地域と共にという思いから、新たに区内から女性従業員を採用しています。

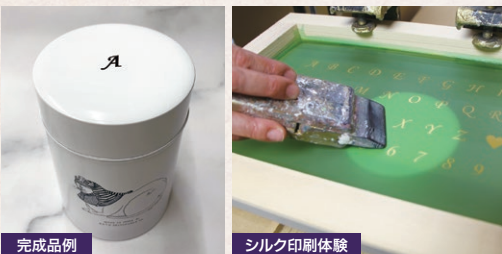
4代目社長の加藤俊司さんは吹き付け塗装職人です。ムラのない滑らかな塗装は、まさに匠の技。「お客様が長く使う大切な1缶を1つずつ丁寧に仕上げます。100缶作る時は精魂込めた1つを100回作ると思って取り組んでいます」と語ります。副社長の里絵さんは前職で得たマーケティングのノウハウを活かし、SNS等の広報活動に注力し販路拡大を進めています。



1 塗料は色や環境で希釈の度合いが異なるのでその場で調合。2 ろくろに載せた缶に吹き付け塗装。3 針で支えて入れ替えます。

モノづくり見学・体験スポット情報

伝統的な和紙張りの缶や茶筒などの製缶の歴史を学び、吹き付け塗装とシルク印刷機を使った作業を見学。その後、手作業で行うシルク印刷器具を使用して、アルファベットやマークなどを印刷する体験ができます。英語(事前相談で中国語)での対応も可能。



完成品例

シルク印刷体験

※この記事では現在計画中的内容をお伝えします



主力製品の茶筒のほか、湿気を防ぐ密閉性の高い茶筒の製造技術を活かして、コーヒー豆や海苔、クッキーなどのお菓子を保存する缶も手掛けています。小ロットのオリジナル缶(イラスト入りなど)の製造にも対応。茶筒の中蓋まで手づくり生産する企業は、国内に数軒しかないとのこと。

【公式サイト】<https://kato-seisakusho.net>

【問合せ】株式会社 加藤製作所 [Tel] 03-5604-9515 [住所] 荒川区西日暮里2丁目46-1



代表 青木俊輔さん

ほしみさき工房「手づくりの技術を受け継ぐヘラ絞り工房」 金属の形を変える楽しさを伝えたい

「ヘラ絞り」はアルミなどの金属板を木型と一緒に回して、ヘラ(金属棒)で押し付けるように成形する手仕事の技術です。お皿などの器やリング状の機械パーツといった、円筒形の立体物を作り出します。ほしみさき工房では、同じものをいくつも作る「工業品」と、作品性を求める1点物の「工芸品」の両方に対応。工業品を製作する場合、プレス加工だと雄型と雌型の2つの金型が必要ですが、ヘラ絞りは雄型の1つだけで良いため、小ロットの製作に適しています。

小学生のとき、ロケットの先端をヘラ絞りで作っているテレビ番組を観て、モノづくりに憧れた青木さんは、社会人になってから区が主催する「モノづくり見学・体験スポット」でヘラ絞り体験したことをきっかけに、工房に入門。12年の修行を経て独立しました。「自分のヘラさばきひとつで、金属が目前でどんどん形を変えていく楽しさを、ぜひ体験して欲しいです」と言います。



ヘラ絞りの機械は横向きの軸が回転するようになっていて、木型や金型をはめ、型に沿わせるようにヘラを使って成形していきます。

モノづくり見学・体験スポット情報

ヘラ絞りの仕組みや特徴について学び、作業現場を見学。その後、アルミ板からヘラ絞りで皿を作り、底面に手打ちで名前やメッセージを刻印する体験ができます。ヘラ絞りは機械の高さの関係で、120cm以上の身長が必要ですが、刻印は小学校低学年から可能。



完成品例

ヘラ絞り加工体験

刻印体験(裏面)

※この記事では現在計画中的内容をお伝えします



1 薄くて丸いアルミ板が基本的な原材料。銅や真鍮、ステンレスを使う場合も。2 ヘラにはさまざまな種類があり、作りたいモノの形状や材質、大きさなどによって使い分けます。3 台座とヘラにはそれぞれくぼみがあり、位置を調整できる突起でテコの原理を利用してヘラ先を操作します。4 神社仏閣の手すりである欄干用の飾り(左)。先に作った雄型の木型(右)を用いてヘラ絞りしたもので、木型も青木さんが作成したものです。

【問合せ】ほしみさき工房 [Tel] 090-1819-6498 [住所] 荒川区東尾久2-43-2

第15回「MACCプロジェクトフォーラム」参加者募集!



代表取締役 戸屋加代さん

『モノづくりあちこち物語』～企業間を繋ぐ案内人達の物語～

テーマは「繋ぐ」。モノづくりの街「東大阪」で企業と企業、大学と企業を繋ぐ案内人として活躍する株式会社MACHICOCOの戸屋加代社長からお話を伺い、併せて、荒川区・つくば市・大学のコーディネーターの方々とのパネルディスカッションを開催します。企業間連携や産学連携に興味のある方、新たな繋がりを探している方に絶好のイベントです。

開催日時	12月8日(金) 14:00~17:00	定員	40人
会場	東京電機大学 東京千住キャンパス1号館2階 1204・1205セミナー室		
申込み・問合せ	経営支援課 産業活性化係 [Tel] 03-3802-4683 ※申込方法については荒川区ホームページ をご覧ください https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a021/jigyousha/macc/maccforummain_2023.html		



【発行】荒川区産業経済部
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3
[Tel] 03-3802-4672 [Fax] 03-3803-2333
[e-mail] sangyo@city.arakawa.lg.jp

【荒川区ホームページ】
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/>
あらかわ産業ナビ
で検索か二次元コード→



スマホやタブレットなどのカメラ機能やアプリを使って読み取ってください。
リサイクル適性 A この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

